

# CITY & LIFE

都市のしくみと暮らし

1989・冬号

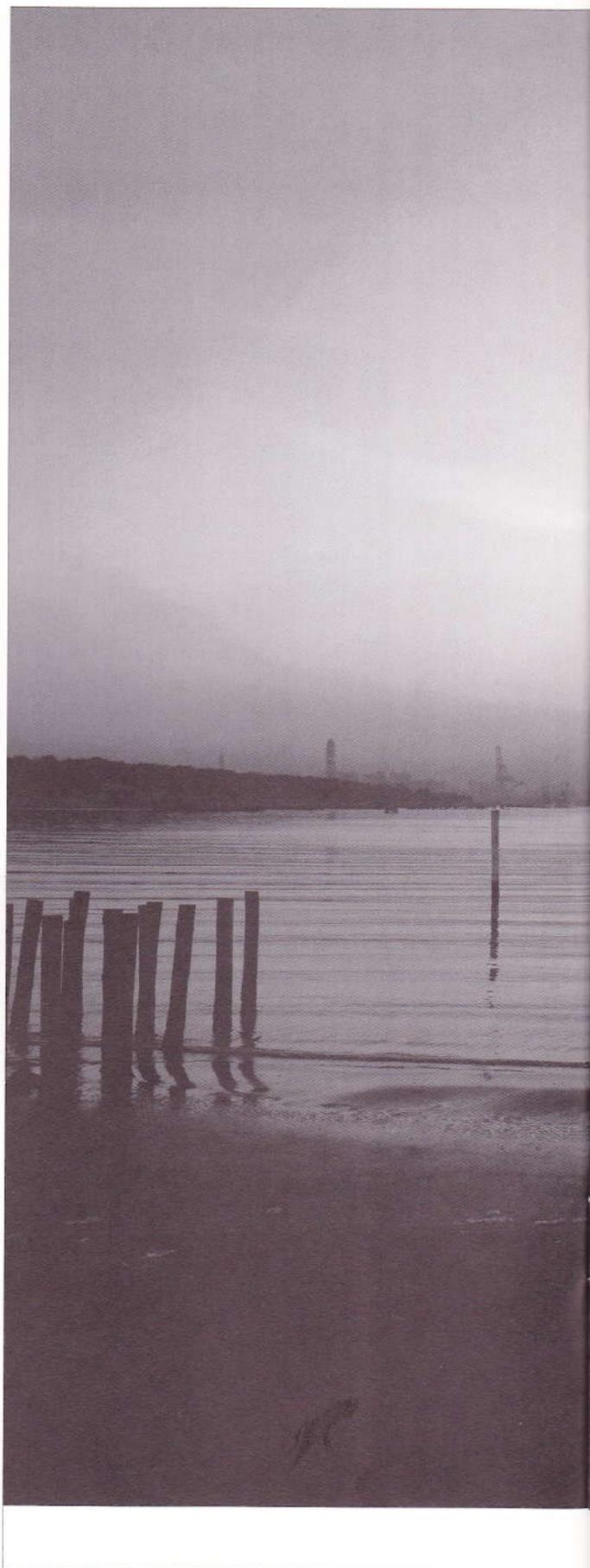
Vol. 12



特集

都市とアメニティ

一九世紀の英国。産業革命期の劣悪な環境が、この国の都市計画にアメニティという概念をもたらした。そして今、この概念は高度経済成長期を経て、環境に付加価値を求めるわれわれ日本人にとってもなまじみの深いものとなった。しかし英国におけるアメニティと日本のそれは決して同質ではないだろう。そこで日本の中でアメニティがどのように理解され、具現化されてきたのか、またどんな課題をかかえているのかを、様々な角度から探つていこうと思う。



## C I T Y & L I F E

## C O N T E N T S

### 特集◎都市とアメニティ

- ② アメニティとはなにか／日笠端
- ④ 誰のための道路か／岡並木
- ⑥ 多様な水との出会いに向けて／陣内秀信
- ⑧ 生物のいる風景のデザイン／小林治人
- ⑩ 第六感の住宅建築／宮脇檀
- ⑫ 旅の宿とcomfortable／徳田敦司
- ⑭ 〈対談〉現代人の“人と暮らし”考／吉沢久子・高見澤たか子
- ⑯ 都市構造の保存とアメニティ／卯月盛夫
- ⑰ 住宅団地に求められるアメニティ／富安秀雄
- ⑲ 賑わいの場にみるアメニティ／望月照彦
- ⑳ 〈座談会〉都市のアメニティを探る  
／藤森照信・枝川公一・松業一清・徳田敦司
- ㉒ 長崎で提案した、あるいは提案したい私の構想／武基雄
- ㉓ バックナンバーの紹介／編集後記